



## 想定最大規模降雨における石手川の浸水想定区域図等について 国管理区間と県管理区間の合成版を作成しました

～「水防災意識社会」の再構築に向けて～

近年、時間雨量50mmを超える短時間強雨や総雨量が数百mmから千mmを超えるような大雨が発生し、全国各地で毎年のように災害が発生しており、今後も大雨の頻発化、局地化、激甚化に伴う災害の発生が懸念されています。

このような背景から、平成27年に「水防法」の一部が改正され、洪水予報河川及び水位周知河川では、これまで公表してきました150年に1度の確率で発生する降雨に伴う浸水想定区域に加え、新たに想定最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域の指定などが義務づけられました。

これまでに国土交通省松山河川国道事務所においては、重信川及び石手川（国管理区間）、愛媛県においては、金生川、関川、国領川、加茂川、蒼社川、中山川、石手川（県管理区間）、千丈川、肱川（県管理区間）及び須賀川の浸水想定区域図等を作成し公表してきました。

しかし石手川においては、国と県それぞれの管理区間から氾濫した洪水による浸水想定区域図をそれぞれ公表してきたため、一目で石手川全体の浸水想定区域を見ることが難しい状況となっています。

そこでこの度、住民の皆様の参考にしていただくため、一目でわかるよう国と県がそれぞれ公表してきました石手川の浸水想定区域図の合成版を作成しましたので公表します。

- 参考公表する石手川（国管理区間と県管理区間の合成版）の浸水想定区域図等
  - 想定最大規模降雨により想定される浸水想定区域及び水深
  - 想定最大規模降雨により想定される浸水継続時間
  - 想定最大規模降雨により想定される家屋倒壊等氾濫想定区域
  - 計画規模降雨により想定される浸水想定区域及び水深

この施策は、関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、水防災意識社会を再構築する取組に該当します。（四国地方整備局）

平成29年 4月12日

### 【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局	まつやま 松山河川国道事務所
電話：089-972-0034（代表）	089-972-0612（直通）
副 所 長（河川）	松下 越夫（内線 204）
◎調査第一課長	中塚 光（内線 351）

愛媛県 土木部 河川港湾局	河川課
電話：089-941-2111（代表）	089-912-2670（直通）
◎主 幹	高石 盛大（内線 4332）
係 長	三宅 祥智（内線 4338）
	◎主たる問い合わせ先

●洪水浸水想定区域図等に関するWEBアドレスは、下記のとおりです。

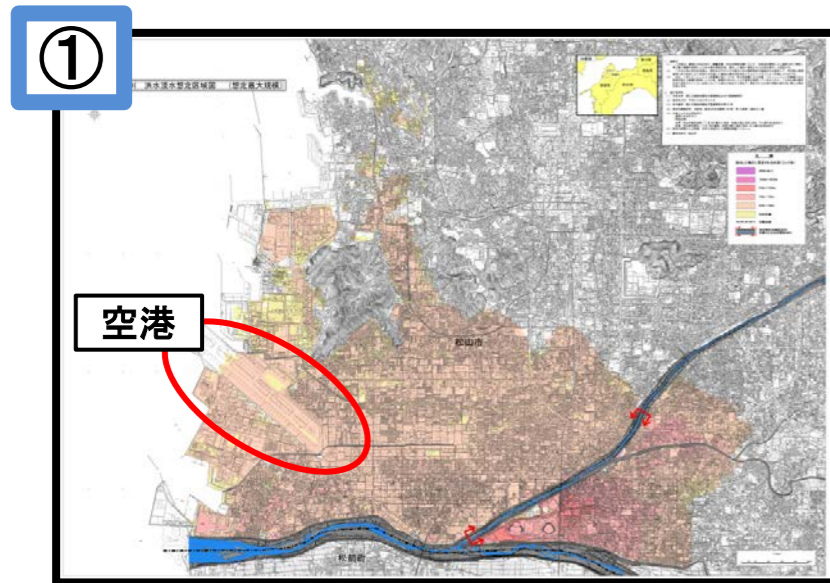
松山河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/sinsuisouteikuikizu.html>

愛媛県 <http://www.pref.ehime.jp/h40600/suibou/kouzui-sinsuisouteikuikizu-itiran.html>

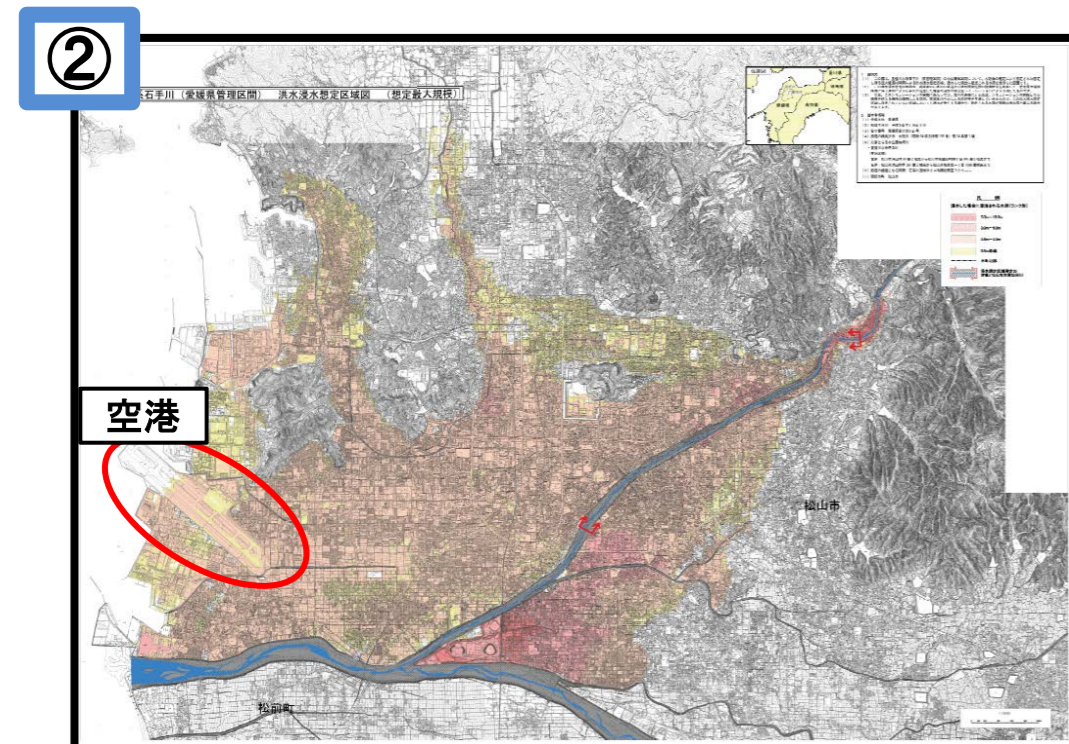
●関係図面は、松山河川国道事務所及び愛媛県土木部河川港湾局河川課・中予地方局建設部に備え置き、縦覧することができます。

# 想定最大規模降雨における石手川の浸水想定区域図等に関する国管理区間と県管理区間の合成版の概要

今回参考公表する5枚の図面の内の「想定最大規模降雨により想定される浸水想定区域及び水深」を例とした概要は以下のとおりです。

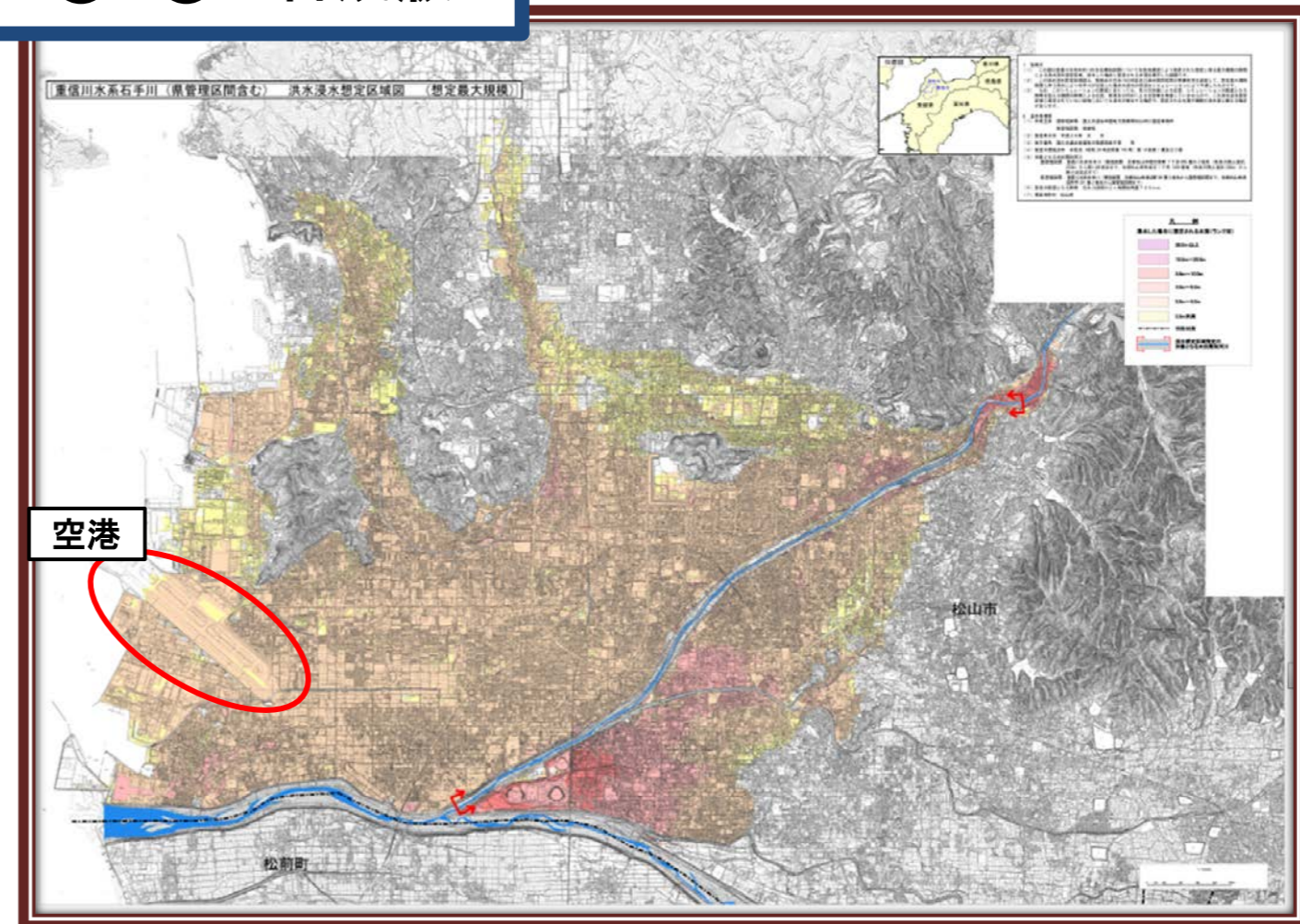


平成28年5月に国が公表した重信川水系石手川(国管理区間)の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



平成29年1月に県が公表した重信川水系石手川(県管理区間)の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

## ①と②の合成版



今回、参考公表する石手川(国管理区間と県管理区間の合成版)の浸水想定区域図(想定最大規模)

①と②あらゆる場所でそれぞれの深い方の浸水深を採用しています。  
(例) 空港を見ていただくと、浸水深が②では0.5m未満(黄色)の部分がありますが、①では0.5m～3m(薄桃色)となっており、合成版では深い方の0.5m～3m(薄桃色)を表示しています。